

製品名: CdcA3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08532**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	CDCA3
別名	CDCA3; C8; GRCC8; TOME1; Cell division cycle-associated protein 3; Gene-rich cluster protein C8; Trigger of mitotic entry protein 1; TOME-1
遺伝子 ID	83461.0
SwissProt ID	Q99618
免疫原	抗血清はヒト CDCA3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 219-268

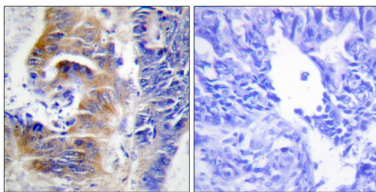
背景

ドメイン:KEN ボックスは、APC/C-Cdh1 複合体との結合に必要です。機能:有糸分裂開始に必要な F ボックス様タンパク質。G2/M

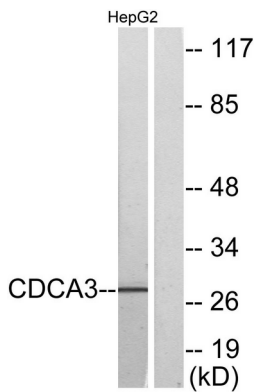
期における WEE1 キナーゼのユビキチン化および分解を媒介する E3 リガーゼ複合体に関与することで作用します。経路:タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。PTM:DNA 損傷時にリン酸化されます (おそらく ATM または ATR による)。PTM:APC/C-Cdh1 複合体によってユビキチン化および分解されます。サブユニット:SKP1A と相互作用します。SCF (SKP1-cullin-F ボックス) タンパク質リガーゼ複合体の一部です。ドメイン:KEN ボックスは、APC/C-Cdh1 複合体との結合に必要です。機能:有糸分裂開始に必要な F ボックス様タンパク質。G2/M 期における WEE1 キナーゼのユビキチン化と分解を媒介する E3 リガーゼ複合体に関与することで作用する。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による)。PTM: APC/C-Cdh1 複合体によってユビキチン化および分解される。サブユニット: SKP1A と相互作用する。SCF (SKP1-cullin-F-box) タンパク質リガーゼ複合体の一部。

研究分野

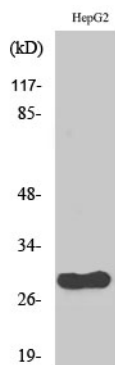
画像データ



CDCA3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



CDCA3 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CdcA3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析